

「2023年スタート！」

新年明けましておめでとうございます。いよいよ2023年が始まりました。今年の元日も天候に恵まれ、素晴らしい初日の出を拝むことができ、みなさんにとって、希望に満ち溢れた素敵な一年になることと期待しています。また今年の干支は「卯」です。野原を跳びはねるうさぎのように、ホップ・ステップ・ジャンプと飛躍できる年になるように、体調管理に気をつけて過ごしていきましょう。



3年生はいよいよ巣立ちの年です。就職、進学に向けての具体的な準備も始まります。卒業前後は、最も開放感を感じるとともに希望や不安に包まれる時期でもあります。不安を少しでも解消するためには、

目の前にある自分の義務を果たし、自分のできる努力をすることです。具体的には会社や学校で必要な事項を調べて、勉強し準備することです。全員が笑って卒業式を迎えられるよう最後まで頑張りましょう。

2年生は、自分の目標とする会社や進学先を選択する時期となりました。今まで、漠然としていた自分の思いや希望を具体化するために、会社や進学先のホームページなどでの情報収集や先輩の受験報告書を調べることで、自分の可能性や今やるべきことが鮮明になってきます。一日でも早く、進路について真剣に考え、就職・進学が順調に決定できるように取り組んでいきましょう。

1年生は自分の進路選択について、就職か進学かまだ決めていない人も多いと思います。進路選択の幅を広げるためにも、進級する系の学習の基礎となる授業全てに意欲を持って取り組みましょう。3学期の取り組みまで含めた成績が、将来の進路選択に大きく関わってきますので、良い成績をあげられるよう日頃の努力を大切にしてください。



「3年生の進路状況」

12月末における3年生全体の進路決定率は**95.5%**となっています。就職においては、昨年度に引き続きこのコロナ禍の中、本校の専門性を活かせる企業からの求人件数は、県内766件、県外2498件、全体3264件と増加しています。**学校紹介による就職者は12月に全員内定が決まり、21年連続就職内定率100%を達成しました。**また第一希望での合格率が9年連続90%を超える結果となっています。今年度は、県内・県外を希望する生徒の割合は、例年とそれほど大きく変化はありませんが、関東方面へ就職する生徒の割合がコロナ禍の影響もあり年々減少傾向にあります。一方で公務員希望の生徒は昨年度より増加しており、専門を生かせる技術職を受験する生徒が合格の大半ですが、受験申込者の多い市役所の一般事務や消防職、海上保安庁などの合格者もおりました。進学においては、様々な上級学校への進学希望者数が増えており、34.0%の生徒が進学を希望しております。大学入学試験の受験方式が多様化していますので、進学する目的を明確にして早めの準備が必要となっています。

これから進学試験等に挑む生徒がおりますので、3学年全員が進路を確定できるように周囲の人も是非協力してください。

【3年生の希望状況・および内定・合格状況】 生徒数 353名

	就職者数	県内企業	県外企業	公務員	自己縁故	進学者数	大学	短大 高専	職能 大等	専門 学校	未定
希望者数	232	78	131	23	0	120	56	7	3	54	1
内定・合格	229	78	131	20	0	108	47	7	2	52	

【地区別就職内定状況】

	県内	関東	中部	関西	中国	九州	県外	全体
内定者数	87名	51名	14名	20名	9名	48名	142名	229名

「来校者面談より」

今年度も進路室には12月末までに1121件（昨年度719件）と多くの企業・上級学校の方々が来校されました。企業の方々からは数多くの求人を頂き、本校の生徒に期待されていることが伝わってきました。すでに来年度の新3年生に向けての求人案内を兼ねて来校される企業の方々もおりました。



①あるエネルギー業界の人事担当者Aさんの話です。「コミュニケーション力が大切」

「今年度入社した卒業生は、研修当初から元気よく挨拶ができ、先輩社員や同期社員への言葉遣いにも礼儀正しさがあり、積極的に周囲との関わりを大切にしているので、リーダー的存在として活躍しています。このコミュニケーション力は、いつ来ても気持ちのよい挨拶をしてくれる鹿児島工業のよい伝統が原点であることがよくわかります。」と嬉しいお言葉を頂きました。相手の目を見て、言葉を先に言ってからお辞儀をする「語先後礼」を今後も徹底して、鹿工ブランドをさらに高めていきましょう。

②会社の求人紹介を兼ねて来校した製造業勤務（4年目）の卒業生Bさんの話です。「メモをとる習慣を！」

「就職して必要と感じることはメモをとる習慣です。担当する設備の維持管理をするために、必要な知識技能を手帳に書き込んでいます。会社ではメモをとりなさいと指導されることはありませんが、いつまでもできないと仕事の幅を広げることができず、会社にも貢献することはできません。また取引先との打ち合わせなどスケジュール管理に手帳は欠かせないものとなっています。鹿児島工業高校も手帳を活用しているので、今のうちに少しでも習慣化してください。」とアドバイスをいただきました。まずは手帳を開き、普段の生活の中で、何を一番優先するかの確認や連絡事項、目標に向けてやるべき事の把握、思いついた事やアイデアの記録、休日の予定など、自己のスケジュール管理のために活用頻度を上げましょう。また3年次の進路選択の際に記録しておいたことを振り返ることにより、就職の履歴書の記入や進学志望書などの記入に役立てることも目的としています。今からでも「書く習慣」を増やしていきましょう。

③建設業勤務（1年目）の卒業生Cさんの話です。「パソコン操作は必須です！」

「高校時代にパソコンに関する基本的な知識や技能を身に付けておくべきでした。在庫管理、工程管理などは表計算ソフト、仕事の引継ぎおよび報告書は文書作成ソフト、研修や会議ではプレゼンソフトの活用が基本なので、仕事をする上で必要なパソコンスキルの向上は必要です。高校時代に身に付けておいた方がいいです。」とアドバイスをいただきました。スマートフォンの操作には慣れていますが、意外とパソコン操作には不慣れなことがあります。どの職種においても、パソコンスキルは必須ですので、パソコン操作の向上に努めましょう。

「社会人としての心構えとは？」

ある企業の人事担当者の方と面談する中で、高校生が卒業前に身に付けておいたほうがよい「社会人としての心構えとはなにか」を質問してみました。

ビジネスの現場では、社内外の多くの人と一緒に仕事を進めていくために、お互いを理解し「信頼関係」を築くことが重要です。なぜなら、信頼関係が強いほど、安心して仕事を任せることができ、仕事を円滑に進めることができるからです。信頼関係を築くために、コミュニケーションを積み重ね、相手を理解し、安心されるような振る舞いを身に付けていくことが必要ですが、それを助けるのがビジネスマナーです。ビジネスマナーは一人の大人、社会人として身に付けておきたい一般常識がほとんどです。マナーを身に付けておくとコミュニケーションが円滑になり信頼関係が繋がります。それは個人だけでなく、そこに所属している企業への評価になります。そのため以下のビジネスマナーを重要視しています。

- (1) 挨拶はハキハキと行う
- (2) 時間厳守
- (3) 清潔感のある身だしなみ
- (4) 丁寧なコミュニケーションを意識する
- (5) 整理整頓を心掛ける

さて、今のあなた自身はどれだけ身に付いていますか？意識して生活していきましょう！